

ユビナガコウモリの茨城県での初記録について

安井さち子*・山崎晃司**

(2013年11月22日受理)

A New Record of *Miniopterus fuliginosus* in Ibaraki Prefecture, Central Japan

Sachiko YASUI* and Koji YAMAZAKI**

(Accepted November 22, 2013)

Key words: Chiroptera, eastern bent-winged bat, Ibaraki prefecture, *Miniopterus fuliginosus*.

はじめに

茨城県内において報告されているコウモリ類は、2科8属9種である(桐原, 1987; 長岡, 1998; 茨城動物研究会, 1998, 2004, 2007; 山崎ほか, 2001, 2008; 二上・稲葉, 2003; 小柳ほか, 2003; 柴田・安井, 2006; 安田ほか, 2010; 安井・斉藤, 2010).

ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* (Hodgson, 1835) は、日本では本州以南、屋久島まで分布するが(Ohdachi *et al.*, 2009)、関東地方では千葉県に集中して分布しており、千葉県を除くと確認記録は少ない(三笠ほか, 2005; 繁田ほか, 2005; 前田, 2009)。これまで茨城県ではユビナガコウモリの記録は報告されていなかった(前田, 1986; Yoshiyuki, 1989)。

筆者らは、茨城県で初記録となるユビナガコウモリの生息場所の情報を得たのでここに報告する。

調査地および方法

2013年2月23日, 3月29日, 4月30日に、茨城県日立市多賀町の海岸台地にあるトンネル(36.55290,

140.64185)で、目視および捕獲によるコウモリ類の生息確認調査を実施した(図1)。トンネルの中を桜川が流れている。トンネルの東向き入口(海側)の大きさは、幅3.4 m, 高さ3.8 mで、延長は約60 mである。開口部はコンクリートで覆われているが、トンネル内部は素掘の状態のままである。また桜川は台地を深く浸食して太平洋に流入しているため、トンネルへは河口部からの川通しの遡行を得ないとたどり着けない地理的条件にある。

捕獲は、トンネル内でコウモリのとまっている場所に捕虫網をそっと近づけ、飛び立った個体を捕獲した(鳥獣捕獲許可茨城県第25900005号および第25900006号)。捕獲後すぐに、捕獲個体の体重をデジタルスケール(Tanita ハンディミニ1476)を用いて測定した。また、体の各部の大きさは、標本作成の際にノギス(Mitutoyo CD-15CPX)を用いて計測した。種の同定は、前田(2005)とコウモリの会(2011)を参考にした。

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所より提供された日立市でのユビナガコウモリの確認情報についても、ここで併せて報告する。

*日光森林棲コウモリ研究グループ 〒305-0043 つくば市大角豆2012-1034 QZV11613@nifty.com (Nikko Forest-dwelling Bat Study Group, 2012-1034 Sasagi, Tsukuba, Ibaraki, 305-0043, Japan).

**ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 茨城県坂東市大崎700 (Ibaraki Nature Museum, 700 Osaki, Bando, Ibaraki 306-0622, Japan).



図 1. 茨城県日立市桜川河口部の環境.

Fig. 1. Sakuragawa River in Hitachi City, Ibaraki Prefecture, Japan.

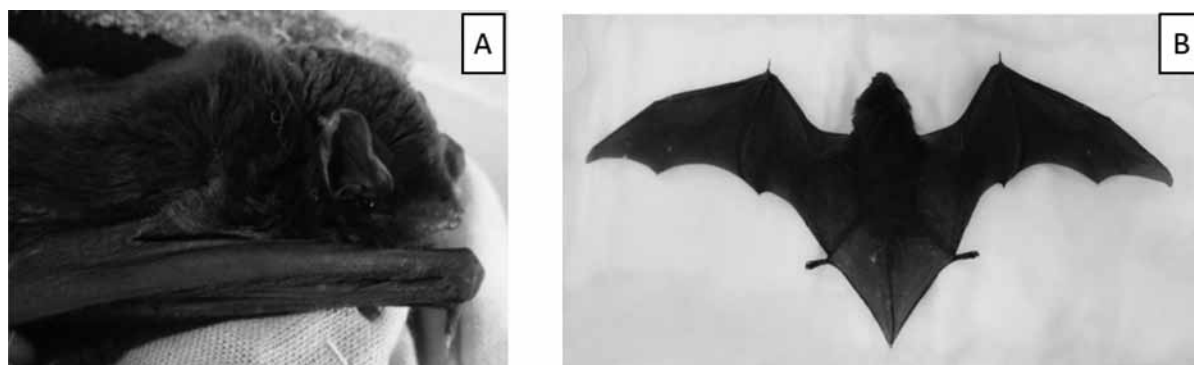


図 2. A. 2013 年 4 月 30 日に茨城県日立市の桜川河口部トンネルで捕獲されたユビナガコウモリ (オス). B. ユビナガコウモリの仮剥製標本 (INM-1-055586).

Fig. 2. A. A male *Miniopterus fuliginosus* captured on 30 April 2013 in a tunnel, Hitachi City, Ibaraki Prefecture, Japan. B. Skin of *Miniopterus fuliginosus* (INM-1-055586).

結 果

トンネルでのコウモリ類の観察記録を表 1 にまとめた。トンネルでは、11 月に数十個体以上のユビナガコウモリの集団がみられた。1 月から 4 月には、利用されても 10 個体程度までであった。2013 年 4 月 30 日にトンネル内の壁面上面にとまっていた 4 個体のコウモリのうち、1 個体 (オス) を捕獲した。当日 9:00 ころのトンネル内部の温度は、15.4℃、湿度は 84% であった。捕獲個体は、外部計測値および形態 (前腕長

が 46 mm 以上あり、翼が細長く第 3 指の第 2 指骨長が第 1 指骨長の約 3 倍あること、耳介が短く丸みがあり耳珠は前方に曲がって先端が丸いこと) から、ユビナガコウモリと同定された (図 2)。収蔵標本の計測値を表 2 に示した。標本は、ミュージアムパーク茨城県自然博物館に収蔵保管されている (標本番号: INM-1-055586)。

また、提供された情報では、カスミ網による捕獲調査により、日立市鮎川 (36.57097, 140.65089) においてユビナガコウモリ 2 個体が 2011 年 8 月 10 日に、日

立市桜川のトンネルの下流 (36.55194, 140.64306) においてユビナガコウモリ 8 個体が 2011 年 11 月 15 日にそれぞれ確認されている (付表).

表 1. 茨城県日立市のトンネルにおけるユビナガコウモリの観察記録.

Table 1. Records of *Miniopterus fuliginosus* observed in a tunnel, Hitachi City, Ibaraki Prefecture, Japan.

調査日	個体数	捕獲等	備考
2010 年 11 月 17-18 日	30 以上		国土交通省調査
2011 年 11 月 15 日	80 程度	4 個体捕獲	国土交通省調査
2012 年 1 月 31 日	6		国土交通省調査
2013 年 2 月 23 日	0		本調査
2013 年 3 月 29 日	10 以上 ¹⁾		本調査
2013 年 4 月 30 日	4	1 個体標本	本調査

1) コウモリが飛び立ってしまったため、種は確認できなかった。

表 2. 2013 年 4 月 30 日に茨城県日立市のトンネルで捕獲されたユビナガコウモリ (オス) の計測値など (体重は捕獲当日に測定. そのほかは 6 月 5 日に計測).

Table 2. Measurement data for a male *Miniopterus fuliginosus* captured on 30 April 2013 in a tunnel, Hitachi City, Ibaraki Prefecture, Japan.

計測部位	体重以外は mm
体重 (g)	13.2
前腕長	47.1
下腿長	21.0
全長	112.0
尾長	45.5
頭胴長 (全長 - 尾長)	66.5
後足長 (ツメアリ)	10.5
後足長 (ツメナシ)	9.0
耳長	12.1
耳珠長	6.3
耳介幅	9.5
繁殖状態	-

考 察

ユビナガコウモリにより、このトンネルが 1 年を通じて利用されているのか、最大どのくらいの個体数が集まるのかなど、トンネルの利用状況については不明な点が多い。ユビナガコウモリは季節移動することが知られているため (Ohdachi *et al.*, 2009), このトンネルの利用状況を明らかにするには、1 年を通じたより詳細な調査が必要である。また、ユビナガコウモリは、多いときには何千個体、何万個体もの集団を形成する (Ohdachi *et al.*, 2009)。日立市周辺に大規模な集団があるかどうかを確認するために、同市周辺に存在する河川のトンネルや海蝕洞についても調査を行う必要がある。さらに、本種の適切な保全のために、本調査地の集団が近隣のどの集団 (福島県、千葉県など)

と交流があるかについての行動学および遺伝学的調査も求められる。

謝 辞

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所には、コウモリ類の調査データを提供いただいた。また、筑波大学学部生の小松茉莉奈氏には、現地調査にご協力いただいた。ここに御礼申し上げる。

引用文献

- 二上文彦・稲葉 修. 2003. 那珂郡山方町でコテングコウモリを確認. 茨城生物, (23): 55-56.
- 茨城動物研究会. 1998. 筑波山の哺乳類. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 茨城県自然博物館第 1 次総合調査報告書, pp. 207-211, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 茨城動物研究会. 2004. 茨城県北東部地域の哺乳類. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 茨城県自然博物館第 3 次総合調査報告書, pp. 279-283, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 茨城動物研究会. 2007. 茨城県北西地域の哺乳類. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 茨城県自然博物館第 4 次総合調査報告書, pp. 255-260, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 桐原幸一. 1987. 常陸太田市で捕獲されたコウモリ. 茨城生物, (11): 63-64.
- コウモリの会. 2011. コウモリ識別ハンドブック. 88 pp., 文一総合出版.
- 小柳恭二・辻 明子・山崎晃司. 2003. 茨城県におけるコウモリ類の生息分布 - 1997 年から 2001 年の記録 -. 茨城県自然博物館研究報告, (6): 85-93.
- 前田喜四雄. 1986. 日本産翼手目の採集記録 (II). 哺乳類科学, 52: 79-97.
- 前田喜四雄. 2005. 日本産翼手目 (コウモリ目) 検索表. 自然環境研究センター (編). 日本の哺乳類改訂版. pp. 159-162, 東海大学出版会.
- 前田喜四雄. 2009. 日本列島におけるユビナガコウモリの個体数推定. 奈良教育大学附属自然環境教育センター紀要, 10: 31-37.
- 三笠暁子・繁田真由美・浅田正彦・水野昌彦・長岡浩子・相澤敬吾. 2005. 千葉県における洞穴性コウモリ類の生息状況. 千葉県立中央博物館 自然誌研究報告, 8 (2): 17-32.
- 長岡浩子. 1998. 北茨城市四時川溪谷で採集されたコテングコウモリの記録. 茨城生物, (18): 60-61.
- Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh. 2009. The wild mammals of Japan. 544 pp., Shoukadoh Book Sellers and the Mammalogical Society of Japan, Tokyo.
- 柴田鏡江・安井さち子. 2006. 茨城県北茨城市小川群落

- 保護林におけるコテングコウモリの樹冠部での偶発的捕獲. 東洋蝙蝠研究所紀要, (5): 27-29.
- 繁田真由美・繁田祐輔・三笠暁子・水野昌彦・浅田正彦. 2005. 千葉県の大規模ねぐらにおけるユビナガコウモリ (*Miniopterus fuliginosus*) の個体数変動. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 8 (2): 33-40.
- 山崎晃司・小柳恭二・辻 明子. 2001. 茨城県でこれまでに確認された哺乳類について. 茨城県自然博物館研究報告, (4): 103-108.
- 山崎晃司・安井さち子・廣瀬 誠. 2008. ヒナコウモリの茨城県での初認記録について. 茨城県自然博物館研究報告, (11): 27-28.
- 安井さち子・齊藤 理. 2010. 茨城県のコウモリ類. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 茨城県自然博物館総合調査報告書 茨城県南西部地域を中心とした脊椎動物, pp. 3-9, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 安田雅敏・奥村みほ子・山崎晃司. 2010. 茨城県北部の小川群落保護林およびその周辺における野生哺乳類の記録. 茨城県自然博物館研究報告, (13): 99-104.
- Yoshiyuki, M. 1989. A systematic study of the Japanese Chiroptera. 242 pp., National Science Museum, Tokyo.

(キーワード): コウモリ目, ユビナガコウモリ, 茨城県, *Miniopterus fuliginosus*.

付表. カスミ網による捕獲調査で、捕獲されたユビナガコウモリの計測値など（国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所提供）。

Appendix. Measurement data of *Miniopterus fuliginosus* captured by using mist nets in Hitachi City, Ibaraki Prefecture, Japan. (Unpublished data presented by Kanto Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism).

調査日	捕獲地点	性 別	体 重 (g)	前腕長 (mm)	繁殖状態	
2011年8月10日	鮎見橋	成獣	メス	14.6	46.6	—
2011年8月10日	鮎見橋	成獣	オス	15.2	46.6	—
2011年11月15日	桜川	成獣	オス	15.9	49.1	—
2011年11月15日	桜川	成獣	メス	16.0	47.5	—
2011年11月15日	桜川	成獣	オス	16.1	46.8	—
2011年11月15日	桜川	成獣	オス	16.8	47.7	—
2011年11月15日	桜川	成獣	オス	15.6	47.5	—
2011年11月15日	桜川	成獣	メス	16.5	48.1	—
2011年11月15日	桜川	成獣	オス	17.1	48.0	—
2011年11月15日	桜川	成獣	メス	17.8	48.5	—